

令和2年3月市議会定例会

消 防 局

議案説明資料 (当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和2年度消防局所管予算(案)総括表	1頁
2	救急高度化整備事業について(拡充) (職員研修費)	2頁
3	消防団活性化事業について (分団運営活動費)	3頁
4	大沢野消防署改築事業について (消防施設整備事業費)	4、5頁
5	分団器具置場の改築事業について (消防施設整備事業費)	6頁
6	施設等改修修繕事業について (消防施設整備事業費)	7頁
7	消防水利整備事業について (消防水利整備事業費)	8頁
8	災害対応用資機材等の整備事業について (消防車両等整備事業費)	9頁
9	消防車両等購入整備事業について (消防車両等整備事業費)	10頁
10	消防活動用機械器具等維持管理事業について (消防車両等整備事業費)	11頁

1 令和2年度 消防局所管予算(案)総括表

【一般会計】

(単位：千円、%)

区分 予算科目 (款・項・目)	令和2年度 当初予算(案) A	令和元年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A-B	増減率 A/B
消防局合計	5,207,994	5,694,308	△486,314	91.5
(款9)消防費	5,207,994	5,694,308	△486,314	91.5
(項1)消防費	5,207,994	5,694,308	△486,314	91.5
(目1)常備消防費	3,737,753	3,753,989	△16,236	99.6
(目2)非常備消防費	361,228	374,115	△12,887	96.6
(目3)消防施設費	1,109,013	1,566,204	△457,191	70.8

【職員研修費】

2 救急高度化整備事業について(拡充)

[消防局総務課]

(1) 予算額 7,868千円

〔 財源内訳 一般財源 7,868千円 〕

(2) 事業目的

傷病者の救命効果の向上を目的とした救急高度化整備事業の一環として、救急救命士の養成を進めるもの。

(3) 事業内容

国が定める「消防力の整備指針」の基準を参考とし、救急自動車1台に救急救命士が常時1名以上乗車できるよう計画的に養成している。

今後とも、市民の負託に応えるため継続的に職員を救急救命士養成所へ約6ヶ月間派遣し、国家資格である救急救命士の資格を取得させるもの。

(4) 養成経過及び予定

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
養成人員	2	2	2	3	3

※ 令和3年度は計画数

【分団運営活動費】

3 消防団活性化事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 2,904千円

財源内訳	県補助金	1,000千円
	一般財源	1,904千円

(2) 事業目的

平成 23、24 年度の 2 か年で整備した消防団員用防火衣一式（防火帽・上衣・防火用長靴）のうち、防火用長靴の経年劣化が著しいことから、消防団員の災害現場活動の充実と安全確保を図るため、防火用長靴を計画的に更新するもの。

(3) 事業内容

防火用長靴を 2 か年で各分団（88 分団・部）に 5 足ずつ整備する。
（2 か年計画の 1 年目）



防火用長靴

【消防施設整備事業費】

4 大沢野消防署改築事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 609,801千円

財源内訳	市債	607,600千円
	財産売払収入	89千円
	雑入	565千円
	一般財源	1,547千円

(2) 事業目的

現庁舎は築41年が経過し（S53年建築）老朽化が著しく、防災拠点としての機能が低下しており、また耐震診断等において耐震強度を有していないと判定されたことから、改築し災害拠点としての機能の向上を図るもの。

(3) 事業内容

大沢野消防署の建設及び旧庁舎の解体を実施するもの。

ア. 建設工事は令和元年度・2年度継続事業（契約額716,374千円）

令和元年度建設工事	198,079千円	} 609,801千円
令和2年度建設工事	518,295千円	
既存庁舎解体工事	83,000千円	
その他竣工に係る経費	8,506千円	

イ. 建物概要

所在地：富山市上二杉地内
敷地面積：6,037.16 m²
建築面積：1,043.82 m²（訓練塔含む）
延床面積：1,350.78 m²
建築構造：鉄骨造2階建

ウ. 事業計画

平成 29 年度 庁舎躯体に係る調査

平成 30 年度 実施設計

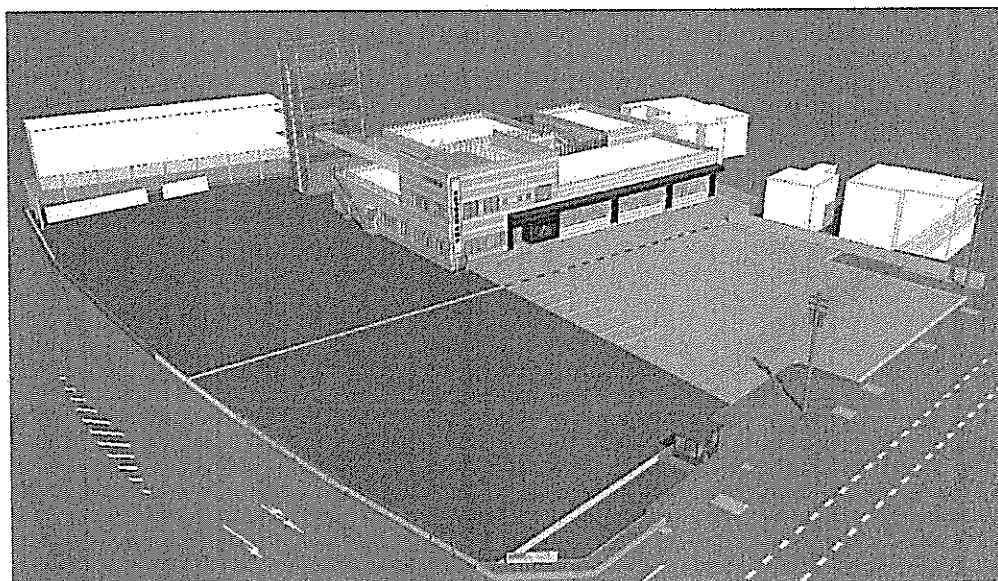
令和 元年度 改築工事

令和 2 年度 改築工事、解体工事

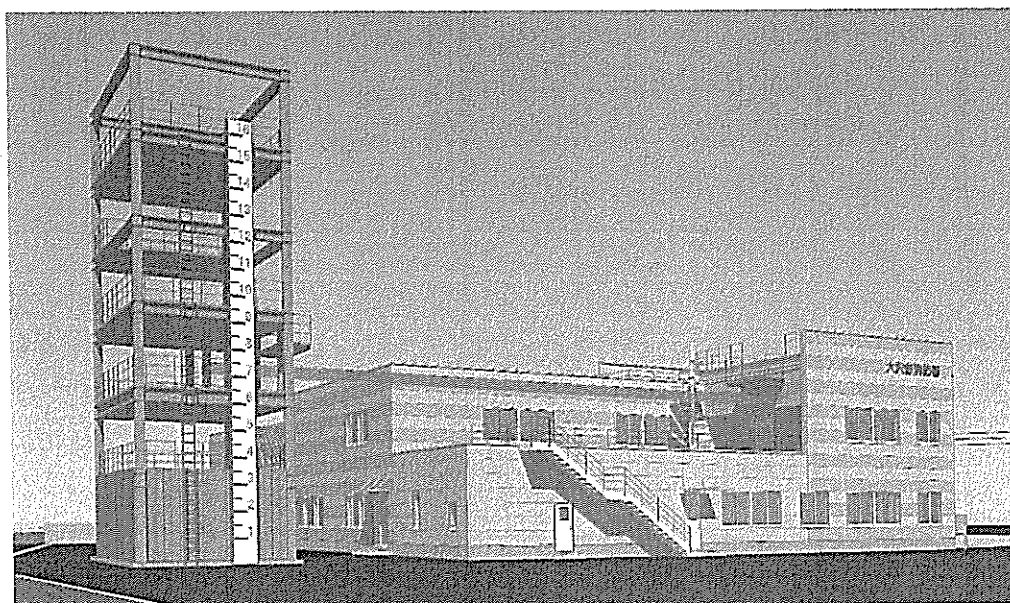
(運用開始は 8 月以降、竣工は 3 月を予定)

完成予想図

(敷地全景)



(庁舎南西側)



【消防施設整備事業費】

5 分団器具置場の改築事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 78,600千円

財源内訳 市債 78,600千円

(2) 事業目的

老朽化が進んでいる地域の防災拠点である分団器具置場を、計画的に建替え整備を図るもの。

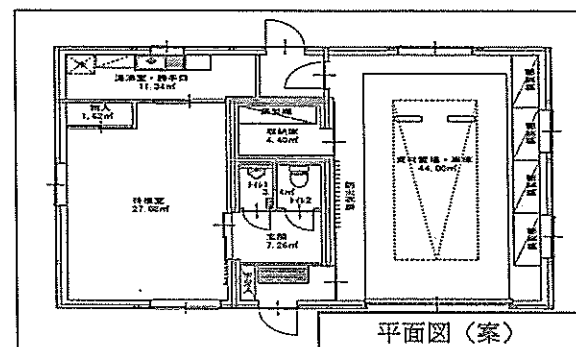
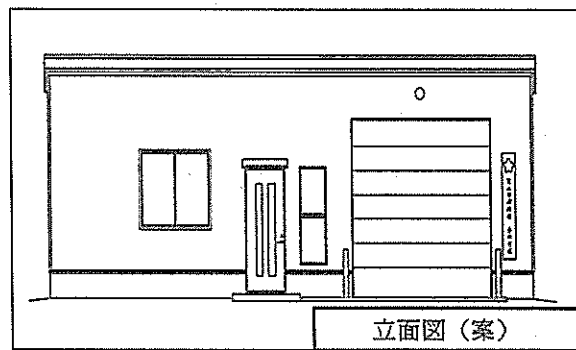
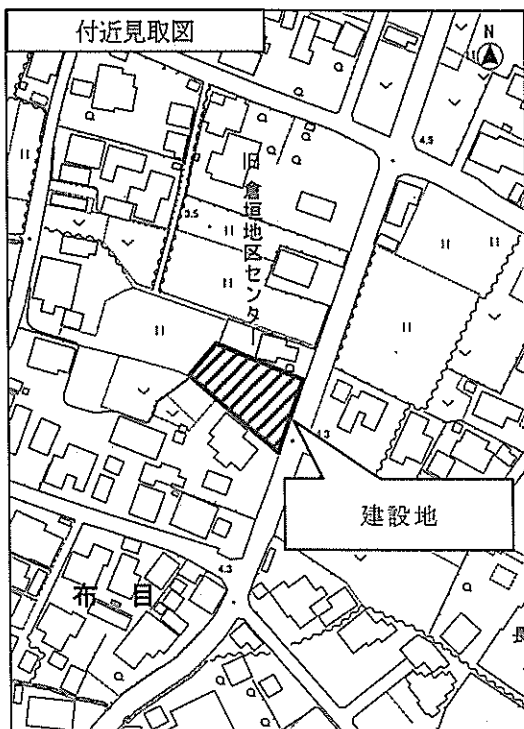
(3) 事業内容

ア. 建設工事費等 78,600千円

北部方面団倉垣分団器具置場

(旧倉垣地区センター併設：昭和54年3月建築(築41年))

- ・設計意図伝達業務 600千円
- ・工事請負費(解体費含む) 78,000千円



【消防施設整備事業費】

6 施設等改修修繕事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 23,300千円

財源内訳	市債	17,400千円
	一般財源	5,900千円

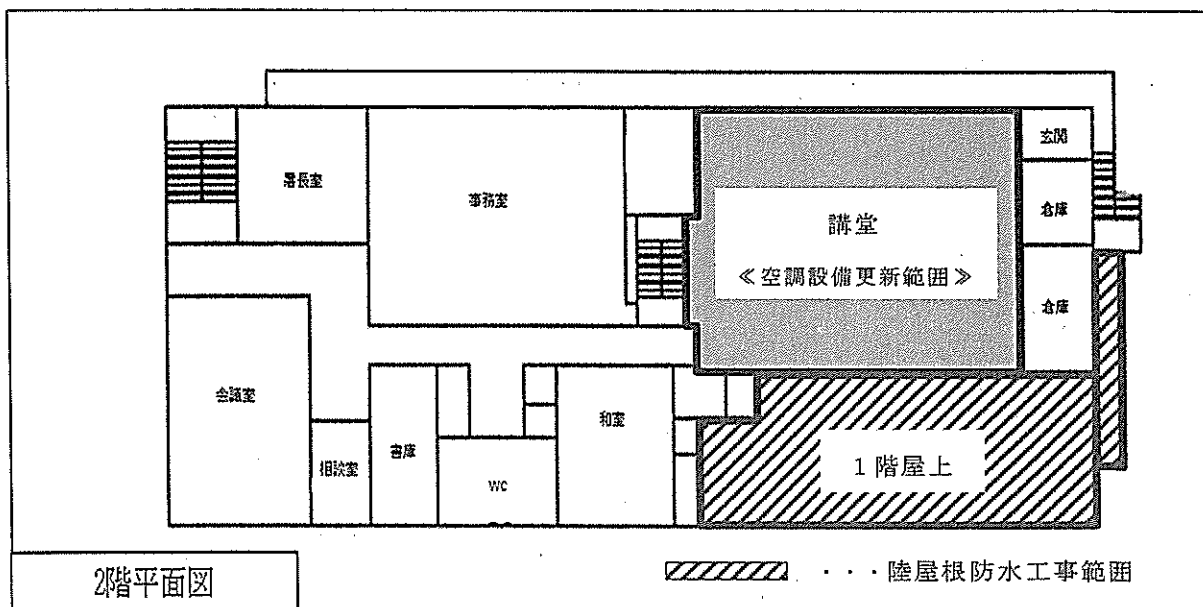
(2) 事業目的

婦中消防署の空調設備及び陸屋根を改修することで、庁舎の機能維持を図るもの。

婦中消防署：平成7年12月建築(築24年)

(3) 事業内容

- ア. 空調設備一部更新委託料 15,000千円
2階講堂：床置ダクト型室内機×4機、室外機×4機更新
- イ. 陸屋根防水工事費 8,300千円
1階屋上：塩ビシート防水 約200㎡



【消防水利整備事業費】

7 消防水利整備事業について

[消防局警防課]

(1) 予算額 18,481千円

〔 財源内訳 一般財源 18,481千円 〕

(2) 事業目的

国が示す「消防水利の基準」を指標とし、地域における水利の状況を考慮して、消火栓を設置するもの。

(3) 事業内容

増設 1基

移設 28基

【消防車両等整備事業費】

8 災害対応用資機材等の整備事業について

[消防局警防課]

(1) 予算額 70,038千円

財源内訳 一般財源 70,038千円

(2) 事業目的

船舶安全法に基づき、消防艇「神通」の運航に係る安全性を確保するため、船体、機関及び設備等を整備し、国土交通省北陸運輸支局が行う定期検査を受検し、引き続き運用するもの。

(3) 事業内容

消防艇「神通」の船体等を整備後、定期検査（主機関の解放検査を含む。）を受検し、機能及び性能を維持する。

(参考図)



消防艇「神通」

【消防車両等整備事業費】

9 消防車両等購入整備事業について

[消防局警防課]

(1) 予算額 245,769千円

{	財源内訳	国庫補助金	29,025千円
		市債	211,000千円
		一般財源	5,744千円

(2) 事業目的

長年の使用により老朽化している消防車両を更新整備するもの。

(3) 事業内容





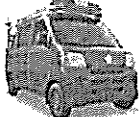
ア. 常備消防車両3台の更新整備

- ・水槽付消防ポンプ自動車 1台 (八尾消防署)
- ・救助工作車 1台 (富山消防署)
- ・高規格救急自動車 1台 (大沢野消防署細入分遣所)

イ. 非常備消防車両3台の更新整備

- ・消防ポンプ自動車 2台 (長岡分団、黒瀬谷分団)
- ・小型動力ポンプ積載車 1台 (大長谷分団)

(参考図)

常備消防車両		
		
水槽付消防ポンプ自動車	救助工作車	高規格救急自動車
非常備消防車両		
		
消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ積載車	

【消防車両等整備事業費】

10 消防活動用機械器具等維持管理事業について

[消防局警防課]

(1) 予算額 13,000千円

財源内訳	手数料	3,427千円
	一般財源	9,573千円

(2) 事業目的

消防庁通知「消防車両の安全基準の周知徹底について」に基づき、15mはしご車の分解整備をするもの。

(3) 事業内容

15mはしご車（富山消防署東部出張所配置）の分解整備を2か年で行うもので、令和2年度は下廻り（油圧機器関係）の分解整備を実施する。（令和元年度に上廻り（梯子装置関係）を実施済み。）

(参考図)



15mはしご車